

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	島原市通園施設あいあい					公表日	令和8年2月5日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		利用時間が違うためスペースは十分であると思っている			
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		配置基準以上の職員で支援している			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		子どもに分かりやすく色やイラストで知らせている			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		活動しやすい環境を提供できる様、掃除や整理整頓を心がけている。また、感染症対策も行き定期的に消毒を行っている			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		切り替えができるときは別室で対応できるようにしている。また、事前に保護者に許可をもらって部屋を移動している			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		子どもに合った目標を設定し、職員で共有している。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者評価を職員全員で把握し、課題を共有することで改善や問題点を確認し検討している。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		ミーティングの中で意見を出し、改善できるよう話合っている。また、個別に面談するなど必要に応じて対応している			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			外部評価はしていないが、必要であると思うため今後の課題として検討する		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		研修の受講を促したり、自ら研修を計画できるよう担当を決めて取り組んでいる。	外部講師に依頼したり、事業所以外の研修にも積極的に参加している		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		職員間で見直しや話し合いを行いホームページ上で公表している	支援内容の理解が分かりにくかったりするため、改善も必要を感じる		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		必ず保護者と面談し、目標については保護者の思いもくみ取り計画書に反映させている	職員の分析力を向上させるため、研修等を実施する必要を感じている		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員間で会議開き、子どもに合った支援の方針性を理解したうえで計画書を作成している	職員全員の意見を取り入れている		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5					
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		子どもの発達状況に合わせたツールを使用している	利用しているツールを最大限に活用できる様、内容の理解を職員全員ができるよう勉強会の検討をする		
	16 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5					
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		リーダーが中心となって全員で行うようにしている			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		支援内容を見直し、研修等で得たスキルを活動内容に取り入れている	新しいプログラムを取り入れながら行っている		

	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		前回の反省を踏まえて支援内容の確認を行っている。保護者へのフィードバックも前回と比較して伝える様にしている	一人では解決できないことが、チームで話し合うことで解決策が見いだせる
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			反省点を必ず次回の支援内容に反映させ、保護者にも納得できる支援を心掛けている
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年に1回必ず保護者と面談し、目標の見直し等を行っている	職員間でモニタリングの勧め方の勉強会を検討する
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達管理責任者や担当者が参加するようになっている	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要な場合はケース会議を開き課題の検討や情報共有を行っている	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		必要であれば保育園等からの情報提供や見学を受け入れている。また、事業所からも情報提供書を提出し支援方法について伝えている	子どもの発達や特性の理解をした上でどのように支援していくべきか、可能であれば直接話し合うことが一番良いと思う
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		保護者から依頼があれば必要な情報提供を行っている	就学時に情報提供書を全員に作成するよう検討している
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		今年度保護者向けの研修会を実施し講師を依頼した。	今後もセンターとの連携は必要を感じる
△	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		病院内の施設のため、地域との交流は難しいところがある
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		保護者を対象とした研修会や講演会等を今年は2回行い、保護者支援を手厚くしている	
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		利用契約時に説明している。利用者負担等に変更があった場合は文書での説明を行うようしている	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		児童発達支援管理責任者が必ず説明し同意を得ている	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		利用時相談等があれば話を聞くようにしている	時間をかける必要がある場合には別日に来てもらい面談するようにしている

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		保護者会を開催することで顔見知りになり、横のつながりができるたり、保護者会への参加がしやすくなったという声もあった	きょうだい同士の交流は難しく開催できないない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		利用時に保護者から相談があった場合はその時に対応しているが、後日来訪してもらい相談を受ける場合もある	職員間で内容の情報共有を行うようにしている
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者にに対して発信しているか。	5		研修会や保護者会の開催時は情報発信している	開催後もどのような内容を行ったのか写真等を掲載するようにしている
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		絵カードや写真を利用して、こどもに伝わりやすくしている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	施設が病院内のため難しいところがある	どうしたらできるのか検討も必要
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		定期的にグループを対象に訓練を行っている	利用者全員には難しいところがある
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		担当を決めて必要な訓練をしている	実施訓練と机上訓練を一緒に行うことで理解しやすくしている
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		保護者からの聞き取りや医療機関からの情報で把握するようにしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		保護者からの聞き取りや医療機関からの情報で把握するようにしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		年間の計画を行い定期的に行うようにしている。	職員が毎月遊具の点検を行っている。定期的に専門家へ点検も依頼している
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		周知ができない部分もあると感じる時もある
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	ヒヤリハットがあった時はミーティングを行うようにしている。	時間がたつと忘れてしまうため、その日のミーティングで意見を出すようにしているが、時間に追われ忘れてしまうこともある
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止研修を行い理解を促している	研修会等に積極的に参加している
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		身体拘束を行うことはない	